

パリを世界一の自転車都市に バスティーユ広場からコンコルド広場まで自転車道開通



9月19日（木）、パリのリボリ通り（rue de Rivoli）で長い間続いていた自転車専用道の工事が終了し、昨日18日にバスティーユ広場（Place de la Bastille）からコンコルド広場（Place de Concorde）まで開通しました。

バスティーユからコンコルドまで自転車で12分

2017年に開始されたこの工事は、車道と自転車道を完全に分け、さらに2車線で作られています。

今回開通したバステューユからコンコルドの間は、地下鉄で7駅、時間にして7～8分かかりますが、自転車専用道で行っても12分と、さほど時間のロスはありません。

また、全長4kmの自転車道にはセンサーが設置され、通行する自転車の数をカウントしています。朝の通勤時には数千の自転車が通行していて、開通からすでに7万5千台もの自転車がこの専用道を利用しています。

パリを世界一の自転車都市に

パリ市は2020年に市内の交通の15%以上を自転車にすることを目標に、一億5000万ユーロ（約179億円）を投じる「自転車化計画」を進めています。

この計画によると、2015年の開始当時に存在していたパリの自転車道の距離を2倍にし、駐輪場を1万箇所追加することになっています。駐輪場は小さなものをなるべく多くの場所に追加することで、利便性を高めます。

パリと郊外を東西南北に結ぶ

パリ市の自転車化は市内のみにとどまらず、最終的にはパリの東西と南北を結ぶ、「自転車高速道」(REVe)を目指しています。完成すれば、西のブーローニュの森(Bois de Boulogne)から東のヴァンセンヌの森(Bois de Vincennes)まで自転車で移動することができます。

年内に凱旋門までパリ観光ルートに自転車道

パリ市の計画では、この専用車線工事は年末までつづき、最終的にはコンコルドからシャンゼリゼ大通りを通して、凱旋門のあるエトワール広場まで延長されます。

今回開通した自転車道ルートにはパリの観光名所が多数存在します：

バステューユ広場～マレ地区（Le Marais）～パリ市庁舎（Hôtel de ville）～ルーブル美術館（Musée du Louvre）～チュイルリー公園（Tuileries）～オランジェリー美術館（Musée d'Orangerie）～コンコルド広場

自転車で回る一味ちがったパリ観光はいかがでしょう？

パリ自転車化計画マップは[こちら](#)

すでに存在するパリ自転車道マップは[こちら](#)

（いずれも赤い点線が工事予定箇所、今回完成した箇所はまだ点線のままです）

1ユーロ = 約119円

執筆：マダム・カトウ

オンラインフランス語学校
ENSEMBLE EN FRANÇAIS
アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

